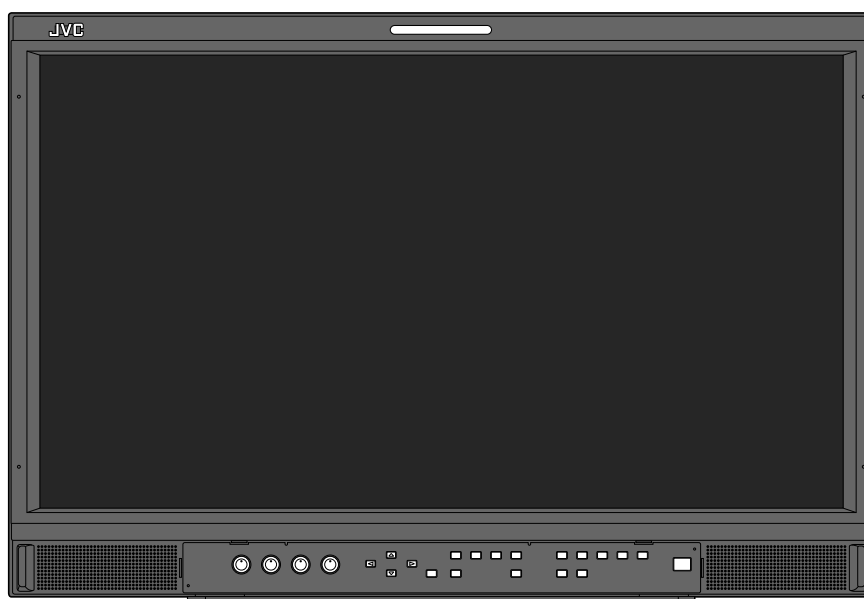
JVC

液晶マルチフォーマットモニター

DT-E21L4
DT-E17L4G

取扱説明書

イラストはDT-E21L4です

お買い上げありがとうございます。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」(3〜5ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。

LCT2675-001A

目次

この製品はクラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

この商品は、放送局などの限定された環境で、専任者により取り扱われることを前提としています。専門知識を持ったかたが操作してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用になるかたや他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

⚠警告 「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

⚠注意 「人が軽傷を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと

一般的注意

感電注意

ケガに注意

手を挟まれないよう注意

アース線をつなぐ

禁止されていること

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水場での使用禁止

実行して欲しいこと

プラグをコンセントから抜く

⚠警告

表示された電源電圧（AV100VまたはDC12V～17V）以外で使用しない。

禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない。

禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない。

感電注意

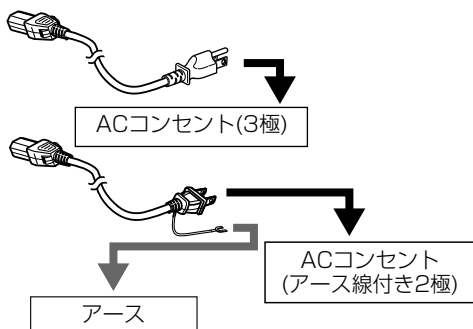
電源コードを傷つけない。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない
- 電源コードの上に機器本体や重い物をのせない
- 電源コードを熱器具に近づけない

禁止

安全アースを接続する。

安全アースを接続しないと感電の原因となることがあります。

アース線をつなぐ

- **ACコンセントが3極の場合**
  付属の電源コード(3極)を接続すると、安全アースも接続されます。
- **ACコンセントが2極の場合**
  付属の電源コード(アース線付き2極)のプラグから出ている緑色のアース線を、建物に備えられているアース端子につないでください。アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行なってください。また、アース接続を外す場合は必ず電源プラグをコンセントから外してから行なってください。

本機の裏ぶた、カバー、キャビネットをはずしたり改造したりしない。

分解禁止

通気孔をふさがない。

- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- 横倒し、逆さまの状態で使用しない

禁止

内部に物を入れない。

感電の原因となります。特にお子様には十分注意してください。

禁止

本機の上に水の入ったものを置かない。

禁止

不安定な場所に置かない。

禁止

風呂場などの水のある場所で使わない。

水場での使用禁止

動作使用条件（温度、湿度）に注意して設置する。

動作使用条件の範囲内で設置するようにしてください。（☞27ページ「動作使用条件」）本機は熱を帯びる構造になっています。取り扱いには十分気をつけてください。

一般的注意

安全上のご注意（つづき）

次のことが起こった場合は

- 煙が出ている、異臭がする。
- 映像が映らない、音が出ない。
- 内部に水や物が入った。
- 落下などにより破損した。
- 電源コードが傷んだ。

電源を切る。

電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に修理を依頼してください。

注意

電源プラグはコードの部分を持って抜かない。

禁止

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない。

禁止

電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む。

一般的注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

ぬれ手禁止

付属の電源コード以外は使用しない。

禁止

付属の電源コードを他の機器に使用しない。

禁止

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く。

プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

プラグをコンセントから抜く

移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす。

プラグをコンセントから抜く

電源コードを抜くときは、壁側のコンセントから先に抜く。

プラグをコンセントから抜く

AC電源の入/切について

本機は背面のPOWERスイッチでAC電源を入/切します。背面のPOWERスイッチを入/切できないところに設置した場合は、電源プラグを抜き差ししてAC電源を入/切してください。そのとき、本機をできるだけコンセントの近くに設置し、電源プラグを抜き差しするのに十分な空間を確保してください。確保できないときは、簡単にAC電源を入/切できる遮断装置を屋内の配線に設置してください。

プラグをコンセントから抜く

一般的注意

次のような場所に置かない。

- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 直射日光や強い光の当たるところ

禁止

本機の上に重い物を置かない。

禁止

本機の上に乗らない、ぶら下がらない。

禁止

液晶画面に衝撃を与えない(ものを当てたり、先の尖ったもので突いたりしない)。

禁止

長時間、音が歪んだ状態で使わない。

禁止

5年に1度は内部の点検を販売店に依頼する。

一般的注意

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。その後、医師に相談してください。

一般的注意

⚠注意

スタンドに設置するときは、転倒・落下防止の処置をする。

地震や不慮の事故などで、本機が倒れたり、設置場所から落下したりすると、本機が破損するだけでなく、けがや感電の原因となることがあり、大変危険です。
スタンドに設置するときは、転倒・落下を防止するための処置をしてください。

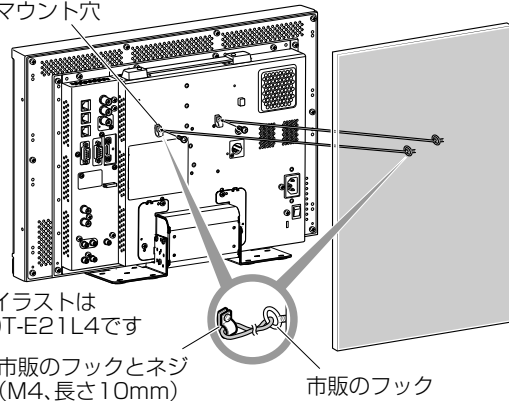
一般的注意

参考例：転倒・落下防止のために

本機をひもで壁に固定することで、転倒・落下を防止することができます。

固定のしかた

本機背面にあるVESAマウント穴のうち上側の２個に、市販のフックとネジ（M4、長さ10mm）を取り付けます。取り付けたフックに市販の丈夫なひもを結び、壁面や柱など堅牢部に固定します。

転倒・落下防止処置を行う場合、壁や柱の強度によっては、その効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止処置は、けがなどの危害の軽減を意図するものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

使用上のご注意

液晶パネルおよびバックライトは、有寿命部品です。液晶パネルの基本的な特性により、残像（焼きつき）や表示ムラが発生することがあります。画像を時々切り換えたり、省電力（パワーセーブ）機能を使う、こまめに電源をオフにするなどして、液晶パネルへの負荷を軽減させることをおすすめします。液晶パネルの連続稼働は、劣化を早めることがあります。

長時間のご使用について

本機を長時間連続でご使用される場合は、電力消費および機器の負担を軽減するために、「Main Menu」→「Sync Function」→「No Sync Action」を「Power Save」に設定することをおすすめします。（☞ 17ページ）また、液晶パネルへの負担を軽減するために、「LCD Saver」機能を使用されることをおすすめします。（☞ 17ページ）

高温でのご使用について

高温の場所で使用しないでください。パネルや本機の部品が故障することがあります。また、本機の内部には温度センサーがあります。通常使用範囲以上の温度になると、「Temp. Over」と表示されます。さらに温度が上がると電源が自動的に切れます。このような場合は、一度温度の低い場所で冷ましてください。

お手入れのしかた

画面

画面に「ムラ」「変色」「キズ」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので、次のことに注意してください。

- のりやテープなどを張らない
- ペンなどで書き込みをしない
- 硬いものにぶつけない
- 結露させない
- アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤でふかない
- 強くこすらない

画面の汚れを取り除くときには、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

キャビネット

キャビネットが変質したり、傷ついたり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤でふかない
- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない
- 強くこすらない

キャビネットの汚れを取り除くときには、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

通気孔

通気孔に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布でふき取ってください。通気孔にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障の原因となることがあります。

設置

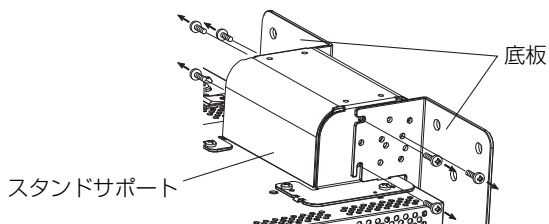
● 本機に肘をかけたり、寄りかかったりしないでください。
● 設置するときに、液晶画面に触れないでください。
● 取り付けが不完全だと、本機が落下するなどして、けがや故障などの原因となります。

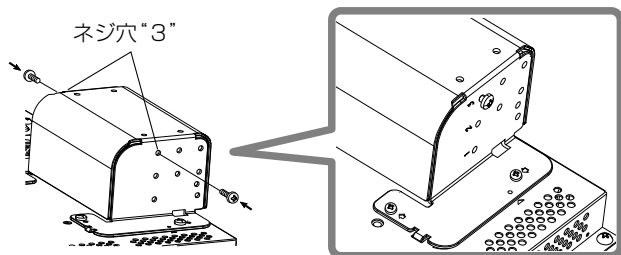
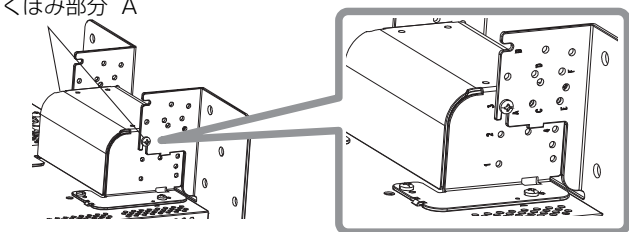
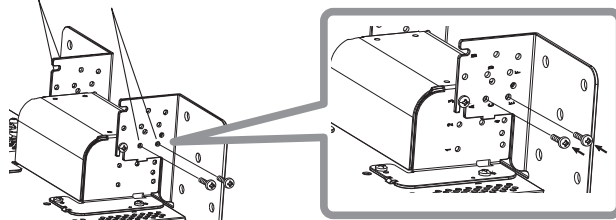
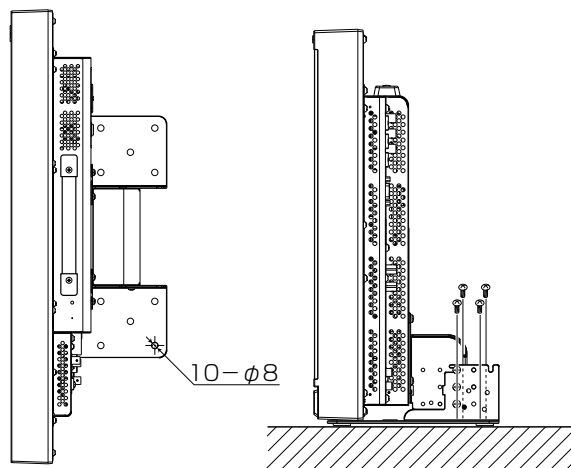
● モニターを棚などにネジで設置する場合

スタンドの底板を後方位置へ移動させることにより、スタンドをモニター本体より前に出さずに設置することができます。

ご注意

●液晶画面を傷つけないように、布などを敷いて行なってください。
●スタンドの底板を後方位置へ移動したあとに、市販のネジでスタンドを必ず固定してください。

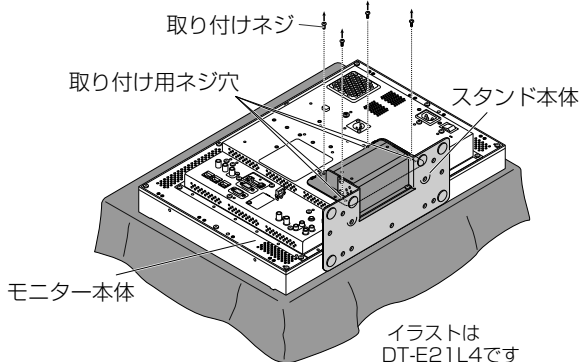
1 スタンドサポートからスタンド用ネジをゆるめ、底板を取りはずしてください。

2 スタンドサポートの左右側面のネジ穴"3"にスタンド用ネジを仮止めしてください。

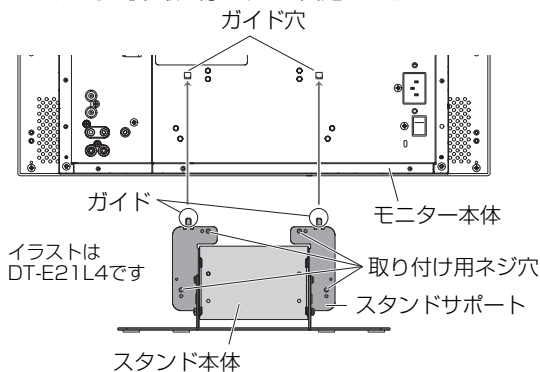
● 仮止めのネジは外側に約4mm出して締めておきます。

3 底板の左右くぼみ部分"A"を、スタンドサポートの仮止めしたネジにかけます。

4 スタンドサポートのネジ穴と、底板の左右のネジ穴"C"と"E"が合うよう位置を調整し、片側２箇所、両側４箇所をスタンド用ネジで締め、最後に仮止めしたネジを締めてスタンドサポートと底板を固定してください。

5 スタンドの底板にあるネジ固定穴（10－φ８）を、市販のネジで片側を２箇所以上、両側で４箇所以上固定してください。
（固定強度が充分で、想定される振動などの外力に耐えることができるネジをご使用ください）

ご注意

●スタンドをネジで固定しないと、転倒･落下で本機が破損するだけでなく、けがや感電の原因となることがあり大変危険です。

● スタンドの取りはずし

ご注意

●液晶画面を傷つけないように、布などを敷いて行なってください。

● スタンドの取り付け

スタンドを取り付けるときは、必ず事前にスタンドサポートのガイドをモニター本体のガイド穴に奥まで入れて、スタンドの位置合わせをします。その後、取り付けネジで固定してください。

● 壁などへの設置について

スタンドの底板の取り付け方を変更することで、モニターを壁に設置することができます。

取付業者指定設置方法

取付工事は必ず工事専門業者にご依頼ください。
この設置方法は落下事故などの危険を防ぐため、取付方法などに十分注意する必要があります。
したがって、取付においては、十分な技術、技能を有する取付工事専門業者が施工を行なうことを前提とした「取付業者指定設置方法」です。

事故損傷について

組立不良、取付工事不良、取付強度不足、誤使用、改造、天災などによる事故などにつきましては、当社は一切の責任を負いません。

- 設置後に撤去しますと、壁面にネジ類の穴やアンカーボルトが残りますのでご了承ください。
  また、液晶モニターを長時間ご使用になりますと、液晶モニターの熱や空気の流れで壁面が変色することがありますのでご了承ください。

⚠危険

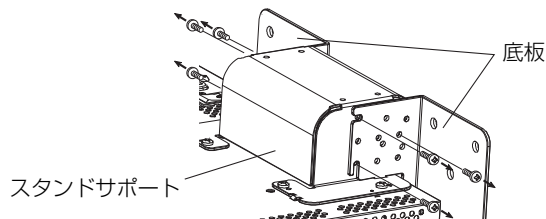
- 取り付けは必ず取付工事専門業者にご依頼ください。お客様による工事は一切行なわないでください。
  本製品を壁に取り付ける場合、組立·設置に不備がありますと落下し、死亡事故の原因となります。
  死亡事故防止のため、設置場所の構造·材質·強度を十分に確認し、設置後には必ず強度確認を行なってください。

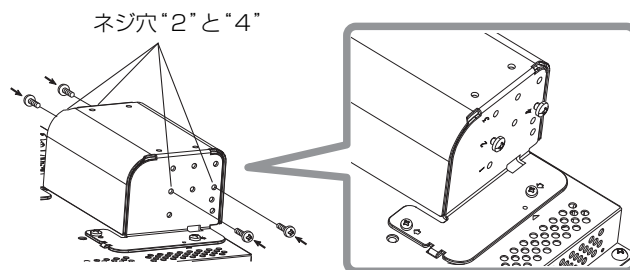
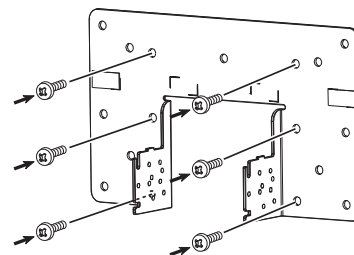
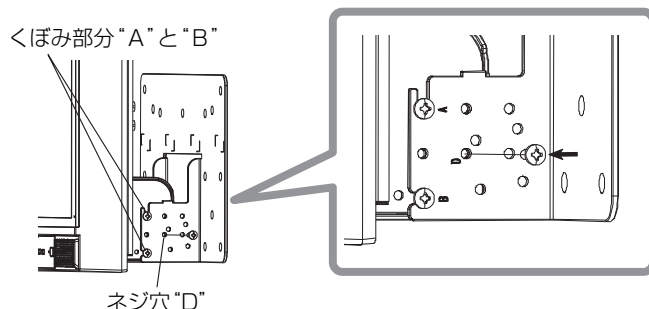
⚠警告

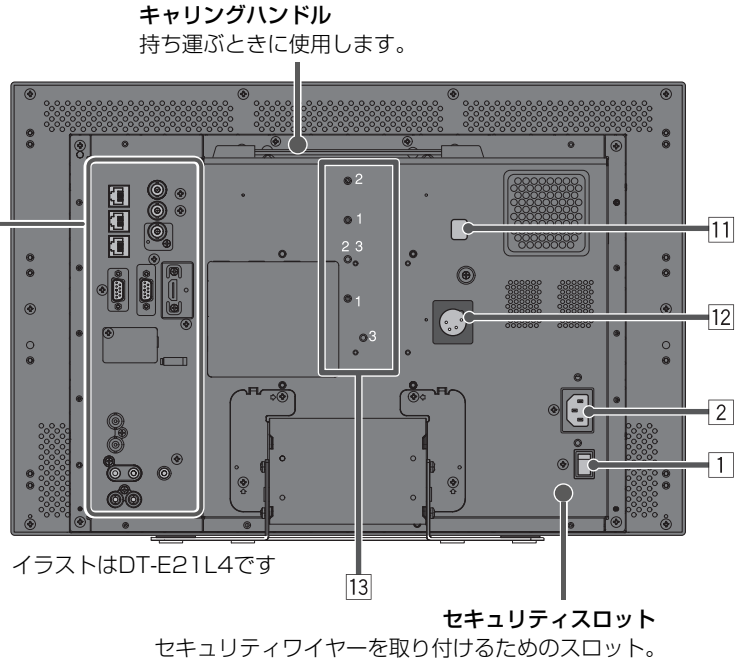
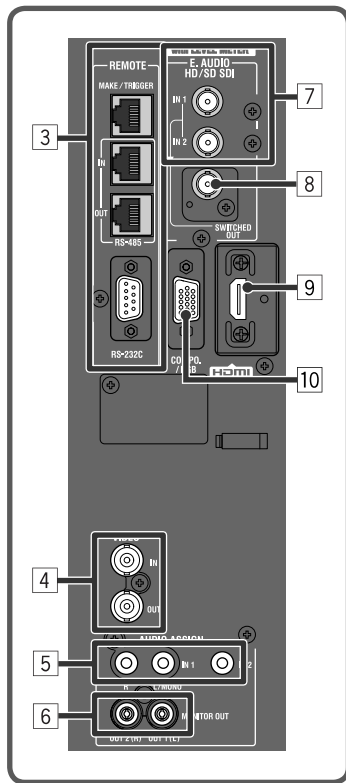
- 本製品以外は取り付けないでください。液晶モニターが落下して、けがや破損の原因になります。
- 本製品のネジは、確実に取り付けてください。液晶モニターやスタンドが落下して、けがや破損の原因になります。
- 本製品には、壁面などに固定するアンカーボルト類は付属しておりません。設置場所に合わせて別にご用意ください。
- 取り付ける壁面は、液晶モニターとスタンド等の総合荷重に長期間十分耐え、また地震や想定される振動や外力に十分耐えられる施工を行なってください。
- 壁が木造の場合の取り付け
  荷重は必ず柱や間柱に持たせるようにし、強度が不足する場合は補強してください。石膏ボードや薄い合板の壁面に直接設置しないでください。ネジ類は壁構造や材質に最適な市販品をお求めください。
- 壁がコンクリートの場合の取り付け
  液晶モニターの荷重に十分に耐えうる市販品のアンカー類をお求めください。
- エアコンディショナーの吹き出し口、吸い込み口のそばに設置しないでください。
- 振動の多いところや衝撃や大きな力がかかるところに設置しないでください。
- 人がぶらさがったり、寄りかかったりするような場所には、設置しないでください。
- 通風孔をふさがないでください。
- 垂直面以外の壁面には設置しないでください。

⚠注意

- 電気工事は、専門業者にご依頼ください。設置時に(芯線の露出、断線など)電源コードを痛め、そのまま使用すると火災·感電の原因となります。
- 作業スペースは十分に確保してください。けがや火災の原因となります。
- 設置場所に通っている配線、配管を確実に避けてください。火災·感電の原因となります。

1 液晶画面を傷つけないように布などを敷き、スタンドサポートからスタンド用ネジをゆるめ、底板をはずしてください。

2 スタンドサポートの左右側面のネジ穴“2”と“4”にスタンド用ネジを仮止めしてください。

● 仮止めのネジは外側に約4mm出して締めておきます。

3 下図の6箇所の穴を市販のネジなどで壁に取り付けてください。

4 底板の左右のくぼみ部分“A”と“B”に、スタンドサポートの仮止めしたネジをかけ、底板の左右のネジ穴“D”にスタンド用ネジを片側1箇所、両側2箇所締め、最後に仮止めしたネジを締めてスタンドサポートと底板を固定してください。

接続

背面

1 **電源スイッチ**
電源をオン/オフ。

● 電源スイッチをオンにしても、⏻/❙ボタン(☞10ページ17)をオンにしないとモニターは動作しません。

2 **AC IN端子**
AC電源の入力端子。

付属の電源コード(3極または2極)を接続します。

● 付属の電源コードホルダーを取り付けて、プラグが抜けないように固定できます。(☞9ページ「電源コードホルダーの取り付けかた」)
● 4ページの「安全上のご注意(安全アースを接続する。)」をよくご覧ください。

ご注意:
すべての機器の接続が終わってから、電源プラグを接続してください。

3 **REMOTE端子**
本機を外部から制御するための端子。(☞22ページ「外部制御」)

4 **VIDEO端子(BNC)**
コンポジット信号の入出力端子。

5 **AUDIO(IN)端子(ピンジャック, ステレオミニジャック)**
アナログ音声信号の入力端子。
● SDIのアナログ音声信号の場合は、このピンジャック端子およびステレオミニジャック端子に入力します。EMBEDDED AUDIO信号が重畳したSDI信号が入力されている場合、アナログ音声信号は入力できません。
● HDMIのアナログ音声信号の場合は、このピンジャック端子およびステレオミニジャック端子に入力します。
● HDMIに音声信号がない場合(例:DVI信号をHDMI信号に変換した)は、この端子に音声信号を入力してください。この端子から音声を入力するときはメニューの「Audio1 Assign」または「Audio2 Assign」の設定を「HDMI-Analog」にしてください。(☞16ページ)

6 **AUDIO(MONITOR OUT)端子(ピンジャック)**
アナログ音声信号の出力端子。
● AUDIO (IN)端子への入力信号やHDMI端子に入力されたデジタル音声信号またはE.AUDIO HD/SD SDI(IN 1またはIN 2)端子に入力されたEMBEDDED AUDIO信号を出力します。
● モニターがオンまたは「Power Save」(省電力モード)(☞17ページ「No Sync Action」)のときのみ出力されます。
● EMBEDDED AUDIO信号は. . .
- アナログ音声信号にデコードして出力されます。
- SDI入力(SDI 1またはSDI 2)が選ばれ、E.AUDIO HD/SD SDI入力端子(IN 1またはIN 2)にEMBEDDED AUDIO信号が入力されているときのみ出力されます。
● HDMI端子の音声信号は、HDCPでプロテクトされていないときのみ出力されます。
- HDCPでプロテクトされていてもスピーカーへは出力されます。

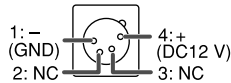
7 **E. AUDIO HD/SD SDI(IN 1、IN 2)端子(BNC)**
HD/SD SDI信号の入力端子。
● サンプリング周波数48 kHz、1～16チャンネルのEMBEDDED AUDIO信号にも対応します。

8 **E. AUDIO HD/SD SDI (SWITCHED OUT)端子(BNC)**
HD/SD SDI信号の出力端子。
● 現在選ばれているSDI入力(SDI 1またはSDI 2)の信号がリクロックされて出力されます。
● SDI入力以外の入力に切り換えたときは、最後に選んだSDI入力(SDI 1またはSDI 2)の信号が出力されます。
● モニターがオンまたは「Power Save」(省電力モード)のときのみ出力されます。

9 **HDMI端子**
HDCP対応のHDMI信号の入力端子。(☞29ページ)

10 **COMPO./RGB端子(mini D-sub15ピン)**
アナログコンポーネント(色差)信号またはアナログRGB信号の入力端子。
● 入力信号にあわせて、「Component/RGB Select」を正しく設定してください。(☞15ページ)

11 **DCスイッチ**
DC 12V電源をオン/オフ。
● DCスイッチをオンにしても、⏻ / I ボタン(☞10ページ17)をオンにしないとモニターは動作しません。
● モニターがオフ(スタンバイ)のときでも、バッテリーはわずかですが消耗します。バッテリーの無駄な消耗を抑えるには、DCスイッチをオフにしてください。

12 **DC IN 12V端子**
DC 12V電源(最大DC17V)の入力端子。

DC 12V電源(最大DC 17V)使用時は、DCIN 12V端子のピン番号と信号を確認し、極性を正しくしてください。逆に接続すると、火災やけがの原因となることがあります。

● AC電源とDC 12V電源を両方接続しているときは、AC電源が優先されます。POWERスイッチをオフにするなどしてAC電源が切れると、DC 12V電源に自動的に切り換わります。
● LPS(Limited power sources:制限動力源)機能をもったDC電源を使用してください。

13 **外部バッテリー取り付け用ネジ穴**
DC 12V電源のための外部バッテリーを取り付けるネジ穴。
1、2、3のネジ穴のうちいずれかの穴(各2カ所)を使用して取り付けます。(バッテリーの種類によって異なります。)
推奨バッテリー:Anton Bauer製Dionic 90(マウント:QR DXC-M3A)

ご注意
● 24Vのバッテリーは使用できません。
● 上記推奨バッテリー以外の重いバッテリーを取り付けると、モニターの使用状況によっては落下することがあります。

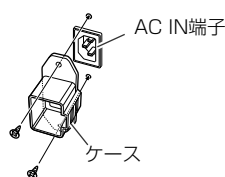
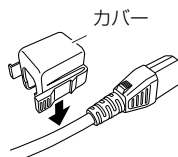
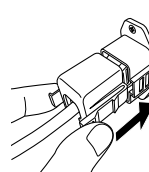
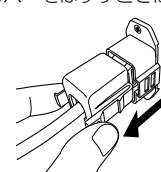
接続するときのご注意
- 本機と接続する機器の電源を切ってから接続を行なってください。
- 接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。接続が悪いと、映像の乱れや雑音の原因となります。
- コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源プラグは、すべての接続が終わってから接続してください。
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

電源コードホルダーの取り付けかた
電源コードが抜けるのを防ぐため、本機の背面に電源コードホルダー(付属品)を取り付けます。
● ホルダーはケースとカバーの2つで構成されています。

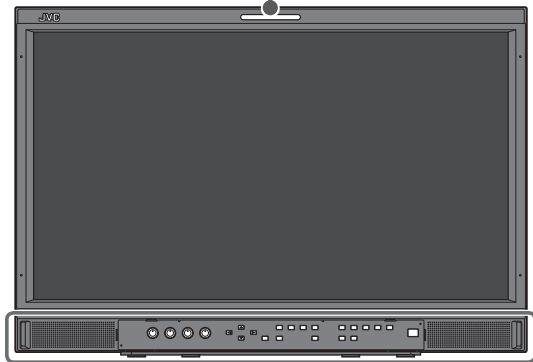
1

2

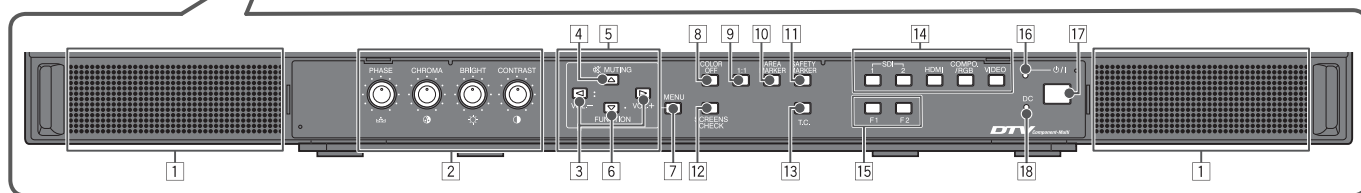
カバー

3

ご注意
● 付属のネジ以外は使用しないでください。
● カバーをケースにはめこんでから、プラグが抜けないかどうかをご確認ください。

基本操作

正面

タリーランプ
MAKE/TRIGGER端子で点灯を制御。
- 点灯色は「Green」と「Red」のいずれかを選ぶことができます。また、ランプ全体を点灯させるか、半分ずつ点灯させるかを選ぶことができます。
(☞17ページ「Set-Up Menu」の「Tally Setting」、22ページ「外部制御」)

- 選んでいる入力や信号フォーマットに対して機能しないボタンを押したときは、「No Effect」と表示されます(機能しないときでも、ランプは点灯します)。
- MAKE方式で外部制御している機能は、ボタンでは操作できません(「Remote On」と表示され、ランプも点灯しません)。

イラストはDT-E21L4です

1 **スピーカー(ステレオ)**
AUDIO(MONITOR OUT)端子から出力される音声信号と同じ音声を出力。(☞8ページ「6 AUDIO(MONITOR OUT)端子」)

2 **映像調節ノブ**
PHASE: 映像の色あい(色相)を調節。
CHROMA: 映像の色の濃さを調節。
BRIGHT: 映像の明るさを調節。
CONTRAST: 映像のコントラストを調節。
- PHASE調節、CHROMA調節は信号フォーマットによっては働きません。
- 「Component Phase」を「Disable」に設定しているとき、PHASE調節はNTSC信号以外では働きません。(☞18ページ)

3 **VOLUME調節ボタン/EMBEDDED AUDIO設定ボタン**
メニューが表示されていないときにスピーカーの音量を調節。SDI入力時にEMBEDDED AUDIO信号が含まれる場合に音声チャンネルを選択。(☞11ページ「音量調節/音声チャンネルの選択」)

4 **MUTINGボタン**
メニューが表示されていないときに、スピーカーの音を消音(ミュート)。
- 解除するには、もう一度MUTINGボタンを押します。
- メインメニューの「Audio Setting」の「Balance」を変更、または「Volume」を調節しても解除されます。(☞16ページ)

5 **◁ / ▷ / △ / ▽ ボタン**
メニューが表示されているときに項目を選択または調節。(☞12ページ「メニューの操作」)

6 **FUNCTIONボタン**
メニューが表示されていないときにF1/F2ボタンの機能を設定。(☞21ページ)

7 **MENUボタン**
メインメニューの表示/非表示。(☞12ページ「メニューの操作」)

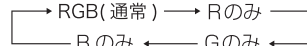
8 **COLOR OFFボタン/ランプ**
輝度信号のみの映像にする。
- RGB入力には働きません。

9 **1:1ボタン/ランプ**
入力信号の解像度と同じ解像度(等倍)で映像を表示。
- 入力信号によって、アスペクト比が変わることがあります。

10 **AREA MARKERボタン/ランプ**
エリアマーカーの表示/非表示。
- エリアマーカーはメインメニューの「Marker」で設定します。(☞15ページ)
- 16:9表示のときのみ働きます。
- 「Marker」の「Area Marker」または「R-Area Marker」を「Off」に設定しているときは働きません。

11 **SAFETY MARKERボタン/ランプ**
セーフティマーカーの表示/非表示。
- セーフティマーカーはメニューの「Marker」で設定します。(☞16ページ)
- 1:1表示およびメニューの「SD 4:3 Size」が「H Full」のときは働きません。
- 「Marker」の「Safety Marker」または「R-Safety Marker」を「Off」に設定しているときは働きません。

12 **SCREENS CHECKボタン/ランプ**
R、G、B信号成分を単体で表示。
- ボタンを押すごとに、映像が次のように切り換わります。

RGB(通常) → Rのみ → Gのみ → Bのみ → RGB(通常)

13 **T.C.ボタン/ランプ**
SDI信号に含まれている時間データ(タイムコード)の表示をオン/オフ。(☞11ページ「情報表示について」)
- タイムコードはセットアップメニューの「Information」で設定します。(☞19ページ)

14 **INPUT SELECTボタン/ランプ**
入力を選択。
SDI 1: Embedded AUDIO HD/SD SDI (IN 1)端子からの入力
SDI 2: Embedded AUDIO HD/SD SDI (IN 2)端子からの入力
HDMI: HDMI端子からの入力
COMPO./RGB: COMPO./RGB端子からの入力
VIDEO: VIDEO端子からの入力
- 選んでいる入力のランプが点灯します。

15 **F1/F2ボタン/ランプ**
このボタンに設定したメニュー内の機能が動作します

16 **電源ランプ**
消灯: 電源が完全に切れている状態(背面の電源スイッチがオフ) Low Power Mode(低消費電力モード)(☞20ページ)に入っている状態
緑色: モニターがオン
オレンジ色: モニターがオフ(スタンバイ)
オレンジ色点滅: Power Save(省電力)モード(☞17ページ「Sync Function」の「No Sync Action」)

17 **⏻ / I ボタン**
モニターをオン/オフ(スタンバイ)。
- 背面に本機の電源スイッチがあります。(☞8ページ1)

18 **DCランプ**
DC12V電源で使用しているときに、バッテリー残量の減少などによって電圧が低くなると、ランプの点灯が緑色からオレンジ色に変わります。
電圧がさらに低くなると自動的に電源が切れ、赤色に変わります。
- バッテリーを交換するときは、必ず背面のPOWERスイッチとDCスイッチをオフにしてください。
- バッテリーの種類や消耗状態によって、オレンジ色で表示される時間は異なります。表示がオレンジ色に変わったら、早めにバッテリーを交換してください。

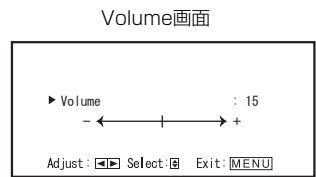
音量調節／音声チャンネルの選択

音量調節

Volume画面

```
▶ Volume                : 15
   − ←―――――┼―――――→ +

Adjust：◀▶ Select：⇕  Exit：MENU
```

1 メニューが表示されていないときに ◁ ▷ (音量調節ボタン)を押す
SDI入力では「Volume/E.Audio」画面が表示され、SDI以外の入力ではVolume画面が表示されます。
2 ▽ ボタンを押してカーソルをVolumeに移動させる
(「Volume/E.Audio」画面が表示されない場合は操作は不要です)
3 ◁ ▷ ボタンを押して音量を調整する。
4 MENUボタンを押して終了させる。
(Volume画面は、5秒間操作が無ければ、自動で消えます)

音声チャンネルの選択

SDI入力で、EMBEDDED AUDIO信号が入力されているとき、スピーカー(L/R)とAUDIO(MONITOR OUT)(OUT1(L)/OUT2(R))端子から出力する音声チャンネルを選びます。

- 音声チャンネルのグループを設定しておく必要があります。(☞16ページ「Audio Setting」の「Embedded Audio Group」)
- SDI 1とSDI 2のそれぞれの入力ごとに記憶されます。

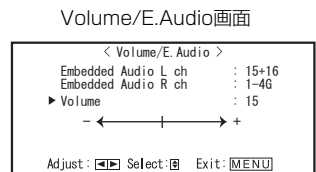
Volume/E.Audio画面

```
       < Volume/E.Audio >
 Embedded Audio L ch     : 15+16
 Embedded Audio R ch     : 1-4G
▶ Volume                 : 15
   − ←―――――┼―――――→ +

Adjust：◀▶ Select：⇕  Exit：MENU
```

1 メニューを表示していないときに ◁ ▷ ボタンを押す
「Volume/E.Audio」画面が表示されます。
- 「Volume/E.Audio」画面は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。

2 △ ▽ ボタンで左右(L ch/R ch)を選ぶ
3 ◁ ▷ ボタンで音声チャンネルを選ぶ
- ボタンを押すごとに、「Embedded Audio Group」の設定に従って音声チャンネルが切り換わります。(☞16ページ)

4 MENUボタンを押す
- 「Volume/E.Audio」画面が消えます。

情報表示について

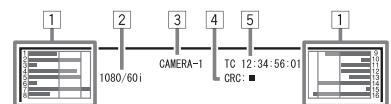
入力に関して、以下の情報が表示されます。
- 各情報の表示/非表示は、メニューで設定します。5のみ、T.C.ボタン(☞10ページ13)で設定します。

1 **オーディオレベルメーター**
- 「Level Meter Display」を「Horizontal」または「Vertical」に設定するとEMBEDDED AUDIO信号の状態を確認することができます。
- 「Level Meter Display」が「Off」の時は表示されません。(☞16ページ「Audio Setting」)

2 **信号フォーマット**
- 「Status Display」が「On」のとき表示されます。(☞19ページ「Information」)
- 表示内容については、29ページの「対応信号フォーマット」および下記の「信号フォーマットについて」をご覧ください。

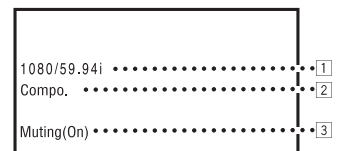
3 **「Character Setting」で登録した入力映像ソース名**
- 「Source ID」が「On」または「Auto」のとき表示されます。
- 「Status Display」が「Off」または「Auto」のときは、大きな文字で表示されます。(☞19ページ「Information」)

4 **CRCエラー表示**
- 「CRC Error」が「On」のとき表示されます。(☞19ページ「Information」)
- エラーが発生したときは、赤い四角が表示されます。

5 **タイムコード**
- 入力信号にタイムコードが含まれていないときは、「TC ––:––:––:––」と表示されます。(☞10ページ13)

ステータス表示について

現在ランプが点灯しているINPUT SELECTボタン(☞10ページ14)を押すと、入力信号のステータスとMUTING(消音)の設定状態が約3秒間表示されます。

- ステータスの表示/非表示は、「Information」の「Status Display」で設定します。(☞19ページ)
- 「Status Display」を「Auto」または「On」に設定すると、次の場合にもステータスが表示されます。
  - 入力を切り換えたとき
  - 現在選んでいる入力の信号の状態が変わったとき
  - モニターをオンにしたとき
- 「Status Display」を「On」に設定したときは、ステータスが表示されてから3秒後に、信号フォーマットのみ表示されます。

1 **信号フォーマット**
- 表示内容については、29ページの「対応信号フォーマット」および下記の「信号フォーマットについて」をご覧ください。

信号フォーマットについて

入力信号の種類や状態により、下記の内容が表示されます。

HDMI入力で、HDCP対応の信号が入力されたとき
➡ 信号フォーマットの表示の一番後ろに「＊」が付きます。

映像信号が入力されていないとき
➡ 「No Sync」と表示されます。

本機で対応していない映像信号が入力されたとき
➡ 「Out Of Range」と表示されます。

2 **HDMI入力およびCOMPO./RGB入力時の信号形式**

3 **MUTING(消音)の設定状態**
- 消音時のみ表示されます。(☞10ページ4)

メニューの設定

メニューの操作

1 MENUボタンを押してメインメニューを表示させる

メインメニューを表示させるとき
➡ MENU ボタンを押す
セットアップメニューを表示させるとき
➡ ▽ ボタンを押しながら ◁ ボタンを押す

2 △ ▽ ボタンで項目を選び、▷ ボタンで次の画面へ進む

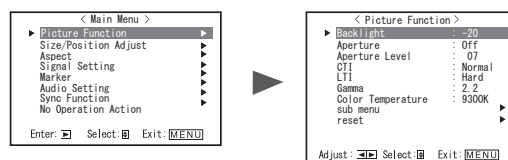
（例）メインメニューの「Picture Function」を選んだとき

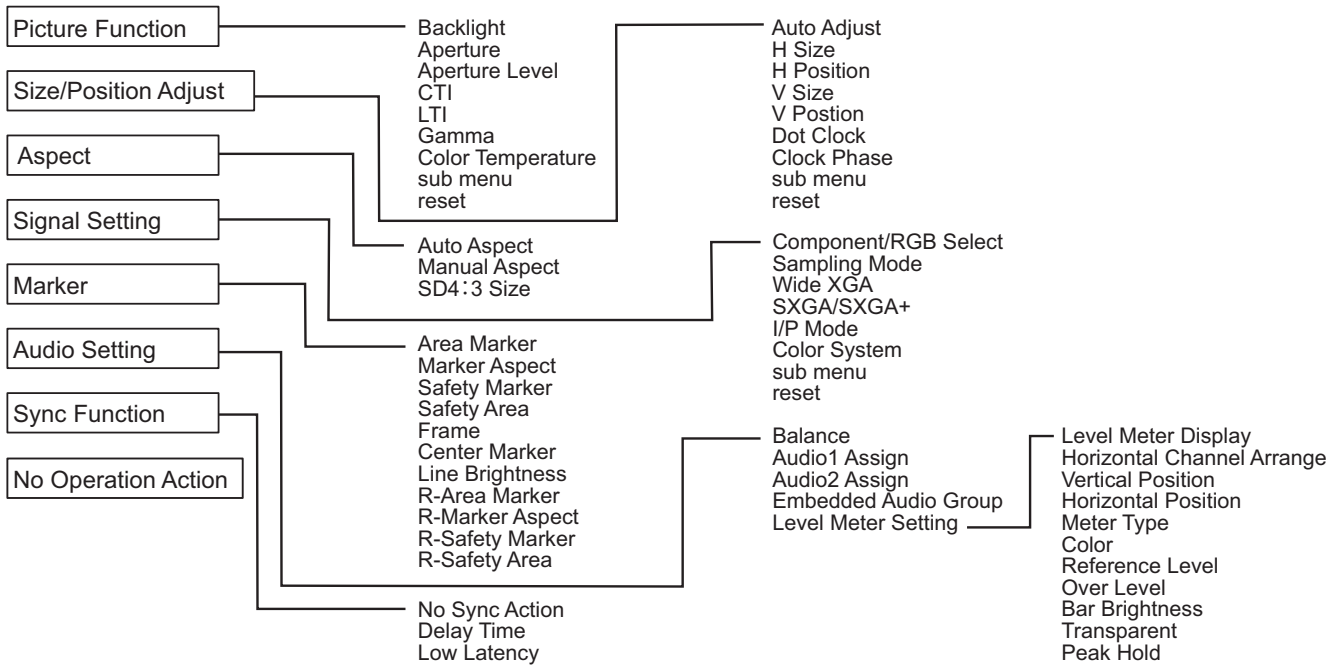
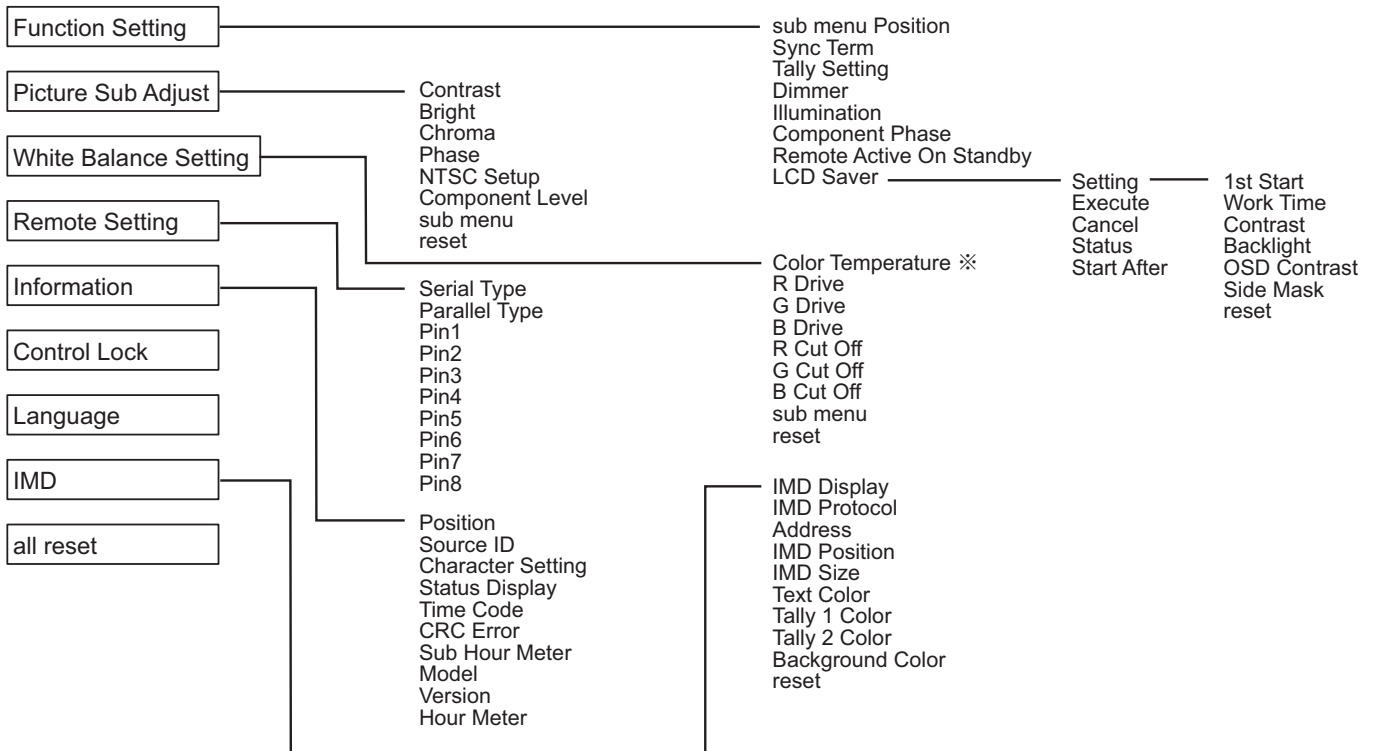
3 △ ▽ ボタンで項目を選び、▷ ボタンで次の画面へ進む

● 項目によっては、◁ ▷ボタンを押して設定します。

4 △ ▽ ボタンで項目を選び、◁ ▷ ボタンで設定する

5 MENUボタンを押してメニューの操作を終了する

● メニュー画面の表示が消えるまで、MENUボタンをくり返し押します。

● メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
● 動作しないメニューは、グレーアウトで、表示されます。
● 選択している入力や信号フォーマットによってはメニューに表示されない項目があります。

メニューの遷移図

※：「Color Temperature」は表示のみで、設定・変更はできません。

メニューの設定（つづき）

Main Menuの設定

Picture Function

画質を向上させるための設定

項目名	内容	設定値
Backlight	バックライトの明るさを調節	−20 ～ +20
Aperture[注1]	「Aperture Level」で設定される値のオン/オフ	Off、On
Aperture Level[注1]	輝度信号の周波数特性を補正	01 ～ 10
CTI	色信号の輪郭部の鮮鋭度を設定	Off、Normal、Hard
LTI	輝度信号の輪郭部の鮮鋭度を設定	Off、Normal、Hard
Gamma	ガンマ補正値を選択	2.2（γ2.2相当）、2.35（γ2.35相当）、2.45（γ2.45相当）、2.6（γ2.6相当）
Color Temperature	色温度を選択	9300K、6500K、User
sub menu	「Picture Function」の項目を映像を見ながら調節	
reset	「Picture Function」の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

注1　入力ごとに記憶されます。

Size/Position Adjust

映像のサイズや位置を調節

項目名	内容	設定値
Auto Adjust	入力信号にあった画面サイズ･位置に自動調節します。	設定範囲は、入力信号および他の設定値などの条件で、変動します。
H Size[注1]	水平方向の映像サイズを調節	
H Position[注1]	水平方向の映像位置を調節	
V Size[注1]	垂直方向の映像サイズを調節	
V Position[注1]	垂直方向の映像位置を調節	
Dot Clock[注1]	画面がちらついたり縞模様になった場合に「Dot Clock」と「Clock Phase」を交互に調節して低減させます。	
Clock Phase		−32 ～ +32
sub menu	「Size/Position Adjust」の項目を映像を見ながら調節	
reset	「Size/Position Adjust」の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

注1　信号フォーマットごとに記憶されます。

Aspect

映像を表示するアスペクト（画面の縦横比）の設定

項目名	内容	設定値
Auto Aspect	ＳＤ信号のアスペクト（画面の縦横比）設定を自動でおこなうか、Manual Aspectの設定にするかを選ぶ	Off、On
Manual Aspect[注1]	ＳＤ信号のアスペクトを設定	16:9、4:3
SD4:3 Size[注1]	4:3フォーマットの信号が入力されているときの映像サイズを選択 Normal　：垂直方向の映像サイズを画面の画素数に合わせて表示 H Full　：水平方向の映像サイズを画面の水平サイズに合わせて表示。このとき、上下がオーバースキャンになります。	Normal、H Full

注1　1：1表示のときは働きません。

Signal Setting

入力信号にあわせた設定

項目名	内容	設定値
Component/RGB Select	COMPO./RGB端子に入力する信号にあわせて選択	Component、RGB
Sampling Mode	アナログRGB入力 VGA60またはXGA60信号を入力するときは「Standard」、WVGA60またはWXGA60信号を入力するときは「Wide」を選択してください。それ以外のときはどちらに設定していても影響はありません。	Standard、Wide
Wide XGA	アナログWIDE XGA信号のフォーマットを選択	1280*768、1360*768
SXGA/SXGA+	アナログSXGA60信号入力時のフォーマットを選択 SXGA60信号を入力するときは「SXGA」を、SXGA+60また、SXGA+60*信号を入力するときは「SXGA+A」を選択してください。 それ以外のときはどちらに設定していても影響はありません。	SXGA、SXGA+A
I/P Mode[注1]	入力映像に応じてスキャンモードを選択	Normal、Cinema、Field
Color System	カラー方式の選択 • 「Auto」で映像が安定しない場合は、入力信号に合わせて選択してください。	Auto、NTSC、PAL、SECAM、NTSC 4.43、PAL M、PAL N、PAL60
sub menu	「Signal Setting」の項目を映像を見ながら調節	
reset	「Signal Setting」の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

注1　メニューの「Low Latency」が「On」のときは強制的に「Field」の処理で、I/P変換されます。

Marker[注1]

マーカー機能の設定

項目名		内容	設定値
1/2	Area Marker	エリアマーカーの表示/非表示、種類を選択 Off　：範囲を表示しない Line　：範囲を線で表示 Half　：範囲外をハーフトーンで表示 Half+Line　：範囲を線で表示し、範囲外をハーフトーンで表示	Off、Line、Half、Half+Line
	Marker Aspect	エリアマーカーのアスペクト比を選択	4:3、14:9、13:9、2.35:1、1.85:1、1.66:1
	Safety Marker	セーフティマーカーの表示/非表示、種類を選択[注2]	Off、Line、Half、Half+Line
	Safety Area	セーフティマーカーの範囲を設定	80% ～ 100%
	Frame[注3]	映像範囲の表示/非表示	Off、On
	Center Marker[注3]	映像の中央位置を示すマーカーの表示/非表示	Off、On
	Line Brightness	マーカーの輝度を設定	High、Low
2/2	R-Area Marker	エリアマーカーの表示/非表示、種類を選択[注2]	Off、Line、Half、Half+Line
	R-Marker Aspect	エリアマーカーのアスペクト比を選択	4:3、14:9、13:9、2.35:1、1.85:1、1.66:1
	R-Safety Marker	セーフティマーカーの表示/非表示、種類を選択[注2]	Off、Line、Half、Half+Line
	R-Safety Area	セーフティマーカーの範囲を設定	80% ～ 100%

- エリアマーカーとセーフティマーカーは、正面のAREA MARKERボタン、SAFETEY MARKERボタンまたは外部制御で表示させます。
- 「R-」のついていない項目とついている項目のうち、どちらの設定を有効にするかは、外部制御で選択します。（☞22ページ「外部制御」）
- 4：3表示のときは、表示エリアに対してのセーフティマーカーが表示されます。
- 16：9表示のときに表示エリアに対するセーフティマーカーを表示させるときは、エリアマーカーの表示を「Off」にしてください。（☞「お知らせ」）

注1　入力ごとに記憶されます。
注2　設定値の内容は「Area Marker」と同様です。
注3　1:1表示の場合はこの表示はグレーとなり、操作できません。

メニューの設定（つづき）

Audio Setting

音量バランス、EMBEDDED AUDIO信号、オーディオレベルメーターについての設定

項目名	内容	設定値
Balance	左右のスピーカーの音量バランスを調節	L5 ～ L1、0、R1 ～ R5
Audio1 Assign	音声を出力する映像入力を選択。 アナログ音声はAUDIO ASSIGN（IN 1）端子に入力。	SDI-1、SDI-2、HDMI-Digital、HDMI-Analog、Component/RGB、Video
Audio2 Assign	音声を出力する映像入力を選択。 アナログ音声はAUDIO ASSIGN（IN 2）端子に入力。	SDI-1、SDI-2、HDMI-Digital、HDMI-Analog、Component/RGB、Video
Embedded Audio Group[注1]	EMBEDDED AUDIO信号の音声チャンネルグループを選択 設定値と、各設定でえらべるEMBEDDED AUDIOの音声チャンネルは以下のとおりです。（GはGROUPのGです） 1G　：チャンネル1/2/3/4/1+2/3+4/1～4（1G） 2G　：チャンネル5/6/7/8/5+6/7+8/5～8（2G） 1-2G　：チャンネル1/2/3/4/5/6/7/8/1+2/3+4/5+6/7+8/1～4（1G）/5～8（2G）/1～8（1G+2G） 3G　：チャンネル9/10/11/12/9+10/11+12/9～12（3G） 1-3G　：チャンネル1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/1+2/3+4/5+6/7+8/9+10/11+12/1～4（1G）/5～8（2G）/9～12（3G）/1～8（1G+2G）/1～12（1-3G） 4G　：チャンネル13/14/15/16/13+14/15+16/13～16(4G) 1-4G　：チャンネル1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15/16/1+2/3+4/5+6/7+8/9+10/11+12/13+14/15+16/1～4(1G)/5～8(2G)/9～12(3G)/13～16(4G)/1～8(1G+2G)/1～12(1-3G)/1～16(1-4G)	1G、2G、3G、4G、1-2G、1-3G、1-4G
Level Meter Setting[注1]	EMBEDDED AUDIO信号のオーディオレベルメーター表示を設定 **オーディオレベルメーターの表示例**―レベルメーター表示位置とチャンネルの関係 例：「Level Meter Display」が「Horizontal」のとき：　例：「Level Meter Display」が「Vertical」のとき： OVER LEVEL　REFERENCE LEVEL　赤色　黄色　緑色　OVER LEVEL　REFERENCE LEVEL • レベルメーターで表示される音声チャンネル数は、「Embedded Audio Group」の選択によって、変化します。 • 音声信号入力のないチャンネルのレベルメーターの色は、「3Colors」設定時は白色、「White」設定時は灰色になります。 • 表示位置について、 「Level Meter Display」が「Horizontal」のときは、表示位置は画面上部と下部が選べます。 「Level Meter Display」が「Vertical」のときは、表示位置は画面右下、左下、左上、右上から選べます。 • 「Peak Hold」が「On」のときは、信号レベルがもっとも大きいときにレベルメーターの最大値を一定時間保持します。	
Level Meter Display	レベルメーターを表示しない、もしくは縦表示か横表示かを設定	Off、Vertical、Horizontal
Horizontal Channel Arrange	横表示のレベルメーターの音声チャンネル表示順序を選択	Line、Divide
Vertical Position	縦表示のレベルメーターの表示位置を設定	1、2、3、4
Horizontal Position	横表示のレベルメーターの表示位置を設定	Upper、Lower
Meter Type	レベルメーターのデザインを設定	Bar、Block
Color	レベルメーターの色を設定	3Colors（レベルに応じて色分け）、White（白色）
Reference Level	レベルメーターで表示される標準入力レベルを設定	－20dB、－18dB
Over Level	レベルメーターの色が「3Colors」のときに、赤色で表示される入力レベルの下限を設定	－10dB、－8dB、－6dB、－4dB、－2dB
Bar Brightness	レベルメーターの明るさを設定	Low、High
Transparent	レベルメーター表示の映像に対する透過度を設定	Off、Background、All
Peak Hold	レベルメーターのピークホールド機能をオン/オフ	Off、On

注1　入力ごとに記憶されます。

Sync Function

信号との同期についての設定

項目名	内容	設定値
No Sync Action	入力信号がないときの動作を設定	Off、Standby、Power Save(省電力モード)、Gray Back(灰色画面)
Delay Time	入力信号がなくなってから、「No Sync Action」で設定した動作に切り換わるまでの時間を設定	30s.、5min.、15min.
Low Latency	入力された映像が表示されるまでの遅延時間を短くする機能をオン/オフ •「On」で映像が不安定なときは、「Off」にしてください。 •「On」に設定していると、正面のボタンやメニューを操作したときや、信号フォーマットが変わったときに、画面がちらつくことがあります。	Off、On

● 「No Sync Action」を「Gray Back」にすると、画面が灰色になり、バックライトの消費電力が半減します。
「Power Save」(省電力モード)にすると、バックライトをオフにして、消費電力をさらに抑えます。

No Operation Action 　**設定値**：Off、On

本機の操作を４時間以上しなかった時に、自動的にオフ(スタンバイ)にする機能の設定

Off:自動でオフしない

On:自動でオフする

● Onに設定した時、自動でオフにする約3分前に警告メッセージが表示されます。
また、本機をオンにすると、この機能がOnに設定されていることを示すメッセージが約30秒間表示されます。

Set-Up Menuの設定

Function Setting

サブメニュー表示、カラーシステム、タリーランプの点灯色、映像のサイズ、ボタンランプの明るさ、PHASE調節の設定

項目名	内容	設定値
sub menu Position	サブメニューの表示内容と表示位置を選択 設定値と内容は以下のとおりです。 Lower1 ： 現在の設定と調節バーを画面下部に表示 Upper1 ： 現在の設定と調節バーを画面上部に表示 Lower2 ： 現在の設定だけを画面下部に表示 Upper2 ： 現在の設定だけを画面上部に表示 • 調節バーが表示されない項目もあります。	Lower1、Upper1、Lower2、Upper2
Sync Term	COMP./RGB端子のRGB入力同期信号の終端抵抗値を設定 • 通常は「High」に設定してください。接続ケーブルが長いなどの理由で、画面がちらつく場合に「Low」に設定してください。	Low、High
Tally Setting	外部制御を使ったタリーランプの点灯色や点灯方法を設定	
Tally Type	Normal:タリー全体を点灯させる Half:タリーの左右半分づつを別々に点灯させる	Normal、Half
Tally Color	Tally TypeがNormal設定時のタリー色を設定	Green、Red
Dimmer	ボタンランプの明るさを選択	Normal、Dark
Illumination	イルミネーションの点灯／消灯を選択	Off、On
Component Phase	NTSC信号以外のときにPHASE調節(映像調節ノブまたはセットアップメニューの「Picture Sub Adjust」)を無効とする機能(☞6ページ)	Enable、Disable
Remote Active On Standby	外部制御(シリアル)による電源切換の条件を設定 On ： 電源OFF後、外部制御による電源オンができます。 Off ： 電源OFF後、外部制御による電源オンができません。	Off、On
LCD Saver	長時間使用時の液晶パネルへの負担を軽減する設定(☞20ページ)	
Setting　1st Start	スタンバイしている時間の設定	00h-24h
Setting　Work Time	機能を動作させている時間の設定	01h-06h
Setting　Contrast	映像コントラストの低減の設定	Save、Normal
Setting　Backlight	バックライト輝度低減の設定	Save、Normal
Setting　OSD Contrast	OSD表示コントラスト低減の設定	Save、Normal
Setting　Side Mask	サイドパネル使用の有無を設定 ※ LCD SAVER機能の実行／停止とは関係なく、SIDE MASK機能は動作します。	Off、On
Setting　reset	LCD Saver Settingの設定をお買い上げ時の状態に戻す	
Execute	LCD Saver の機能を実行する	
Cancel	LCD Saver の機能を停止させる。(機能停止中は表示されません)	
Status	LCD Saver の状態を表示	Off、Ready
Start After	LCD Saver の動作開始までの時間表示	**h **min

メニューの設定（つづき）

Picture Sub Adjust

映像調節の基準レベルを設定

項目名	内容	設定値
Contrast注1	正面のCONTRAST調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	−20 ～ +20
Bright注1	正面のBRIGHT調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	−20 ～ +20
Chroma注1	正面のCHROMA調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	−20 ～ +20
Phase注1、注2	正面のPHASE調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	−20 ～ +20
NTSC Setup	NTSC信号入力時のセットアップレベルを設定	00（セットアップ0%の信号）、7.5（セットアップ7.5%の信号）
Component Level	アナログコンポーネント信号（480i、576iのみ）のレベルを設定	B75（BetacamVTRのセットアップ7.5%の信号）、B00（BetacamVTRのセットアップ0%の信号）、SMPTE（M2VTRからの信号）
sub menu	「Picture Sub Adjust」の項目を映像を見ながら調節	
reset	「Picture Sub Adjust」の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

注1　入力ごとに記憶されます。
注2　「Component Phase」を「Disable」に設定しているときは、「Phase」の調節はNTSC信号以外は働きません。

White Balance Setting

ガンマ補正値、色温度の選択と、R/G/Bのドライブレベル、カットオフ点を調節

項目名	内容	設定値
Color Temperature	色温度を表示（設定、変更はできません）	9300K、6500K、User
R Drive注1 **G Drive** **B Drive**	赤（R）、緑（G）、青（B）のドライブレベルを調節 ● 最大（Max）値、最小（Min）値は、入力信号および他の設定値などの条件で変動します。	Min ～ 000 ～ Max（1024段階）
R Cut Off注1 **G Cut Off** **B Cut Off**	赤（R）、緑（G）、青（B）のカットオフ点を調節 ● 最大（Max）値、最小（Min）値は、入力信号および他の設定値などの条件で変動します。	Min ～ 000 ～ Max（1024段階）
sub menu	「White Balance Setting」の項目を映像を見ながら調節	
reset	「White Balance Setting」の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

注1　「Color Temperature」の設定値ごとに記憶されます。

Remote Setting

外部制御に関する設定

項目名	内容	設定値
Serial Type	シリアル方式で外部制御するときの外部制御端子を選択	RS232C、RS485
Parallel Type	MAKE/TRIGGER端子の制御方式を選択	Make、Trigger、Set
Pin1 **Pin2** **Pin3** **Pin4** **Pin5**	MAKE/TRIGGER端子で制御する機能を各ピンに割り当て • 割り当ては上記の「Parallel Type」で「Set」を選んで行ないます。	☞23ページ「MAKE/TRIGGER方式で制御可能な機能」の「モニター表示」
Pin6	「Pin6」～「Pin8」にはあらかじめ機能が割り当てられています。変更することはできません。	Tally
Pin7		Enable
Pin8		GND

Information

本機の情報の表示に関する設定

項目名	内容	設定値
Source ID	「Character Setting」で登録した映像ソース名の表示/非表示を設定（☞11ページ「情報表示について」） • 「Auto」に設定し、タリーランプを点灯させている場合はタリーランプの点灯色と同じ色に変わります。	Off、On、Auto
Character Setting	任意の入力映像ソース名（10文字まで）を登録RS-232C方式でも入力できます。（☞20ページ）	
Status Display	現在選んでいる入力のステータスとMUTING（消音）の設定状態の表示/非表示を設定（☞11ページ「ステータス表示について」）	Auto、Off、On
Time Code	タイムコードの表示種類を選択	VITC[注1]、LTC[注1]、D-VITC
CRC Error	HD SDI信号入力時のCRCエラーの表示/非表示を設定（☞11ページ「情報表示について」）	Off、On
Sub Hour Meter	使用時間を表示（単位：時間）　使用時間は、リセットして0に戻すことができます。	
Model	本機の型名を表示	
Version	本機のバージョンを表示	
Hour Meter[注2]	合計使用時間を表示（単位：時間）　本機の保守の際に確認します。合計使用時間はリセットできません。	

注1　アンシラリータイムコード

注2　「Hour Meter」と正面の調節ノブによる設定はリセットされません。

Control Lock[注3]

設定値：Off、Volume Lock、All Lock

本機の操作ができないように設定

注3
・「Volume Lock」のときは以下の操作は働きません。
 – 映像調節ノブ
・「All Lock」のときは本機の操作ができません。ただし以下の操作は可能です。
 – モニターのオン/オフ（スタンバイ）
 – ▽ ボタンを押しながら ◁ ボタンを押してセットアップメニューを表示し、「Control Lock」を「Off」にする
 – 外部制御による本機の操作
これら以外の操作をすると、画面に「Control Lock On!」と表示されます。

Language

設定値：English、Deutsch、Français、Español、Italiano、Русский

メニューなどの表示言語の設定

IMD

IMD(インモニターディスプレイ)の設定（☞20ページ）

項目名	内容	設定値
IMD Display	表示設定 On：表示させる、Off：表示させない	On、Off
IMD Protocol	シリアル通信のプロトコル設定 Off：JVCプロトコルに対応、TSL V4.0：TSL UMD Protocol V4.0に対応	Off、TSL V4.0
Address	アドレス設定 000-126：個別のアドレスを指定する	000-126
IMD Size	文字サイズ設定 Small：小サイズ、Middle：標準サイズ、Large：拡大サイズ	Small、Middle、Large
Text Color	文字色の設定 Command：通信（コマンド）で指定された色に従う Red、Green、Amber、Blue、Cyan、Magenta、White：文字色の指定	Command、Red、Green、Amber、Blue、Cyan、Magenta、White
Tally 1 Color	タリー１の色設定 Command：通信（コマンド）で指定された色に従う Red、Green、Amber、Blue、Cyan、Magenta、White：表示色の指定	Command、Red、Green、Amber、Blue、Cyan、Magenta、White
Tally 2 Color	タリー２の色設定 Command：通信（コマンド）で指定された色に従う Red、Green、Amber、Blue、Cyan、Magenta、White：表示色の指定	Command、Red、Green、Amber、Blue、Cyan、Magenta、White
Background Color	表示背景色の設定 Black：IMD表示の背景を黒にする。 Translusent：IMD表示の後にモニターの映像が透ける。 Transparent：IMD表示の背景を透明にする。	Black、Translusent、Transparent
reset	「IMD」の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

all reset

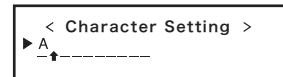
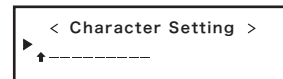
本機のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻す（リセット）

メニューの設定（つづき）

● ソース名登録のしかた

1. 映像ソース名を登録したい入力に切り換える
2. 「Character Setting」を表示させる
3. △▽ボタンを押して1文字目に入力する文字を選ぶ
   - ● △ボタンを押すごとに、文字が次のように切り換わります。
     ▽ボタンでは逆順に切り換わります。

→空白（スペース）→ 0〜9 → A〜Z → a〜z → &()＊+,–./:<>_ →

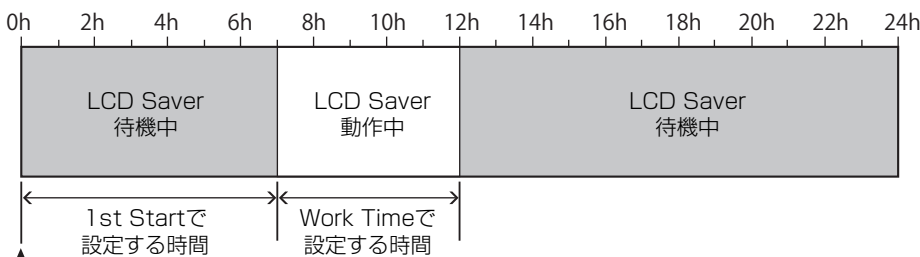
4. ▷ボタンを押してカーソル（矢印）を次の文字の入力位置に移動させる
   - ● カーソル（矢印）を移動させる前に入力した文字は記憶されます。
5. 手順**3**、**4**をくり返して、最大10文字まで入力する
6. MENUボタンを押して設定を保存する

● LCD Saverの使いかた

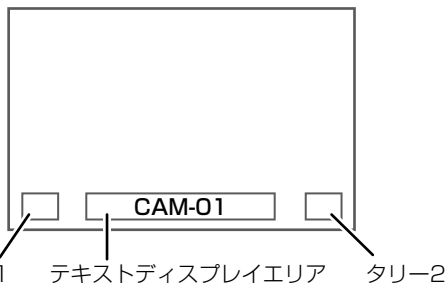
1. 実施する低減機能を設定する。
2. 機能をスタートさせる時間と、働かせておく時間を設定する。
3. Executeで待機モードを実行させる。

■ **機能の実行中の動作を中止させるには**
本機の操作をすることで実行モードが中止されます。

■ **止めるには**
Cancelを実行する。電源を切る。

● 一度機能を動作させると、電源を切ったりCancelをしないかぎり、24時間経過するごとに低減機能が実行されます。

■ **「1st Start」と「Work Time」の設定例**

● IMD（インモニターディスプレイ）について

本機はTelevision Systems Ltd 社の「TSL UMD Protocol - V4.0」に対応しています。
16文字のテキスト表示と左右2か所のタリーを制御できます。
文字およびタリーの色も設定が可能です。
アドレス設定をおこなうことで、127台まで個別に制御が可能です。
利用するには本機の外部制御端子をシリアル方式にします。
制御コマンドについて、詳しくはTelevision Systems Ltd 社のホームページをご覧ください。

※ IMDの画面下部表示例

● Low Power Mode（低消費電力モード）について

モニターをオフ（スタンバイ）すると、30秒後にLow Power Modeになり、スタンバイ状態から更に消費電力を抑えることができます。

- セットアップメニューの「Remote Active On Standby」が「On」のときはLow Power Modeにはなりません。
- Low Power Mode中は電源ランプが消灯します。

Function Key Setting Menu

F1、F2ボタンに割り当てる機能を設定

● 「Function Key Setting Menu」を表示させるには
メニューが表示されていないときに▽ボタンを押す
「Function Key Setting Menu」を終了するには[MENU]ボタンを押す

項目名	内容	設定値
Function1	F1ボタンに登録する機能を設定する。	- - -、Aperture、I/P Mode、Frame、Center Marker、Level Meter Display、Gamma、Color Temperature、CRC Error
Function2	F2ボタンに登録する機能を設定する。	
Function Display	F1ボタンやF２ボタンを押したときに、設定された機能の状態表示をするかしないかの設定 Off ： ステータス表示なし。登録機能を実行。 Mode-1 ： ステータスを表示。登録機能を実行。 Mode-2 ： ステータスを表示。登録機能は実行しない。ステータス表示中に、もう一度ボタンを押すと登録機能を実行します。	Off、Mode-1、Mode-2

※お買い上げ時にはFunction1およびFunction2には"- - -"（機能登録なし）が設定されています。
※Function1およびFunction2に設定した機能の内容についてはメニューの説明（13ページから20ページ）を参照してください。

● F1ボタン、F2ボタン操作時の動作について
ボタンを押すたびに、ボタンに設定された機能の設定値を順番に切り替えます。
例:「Color Temperature」を設定したとき

→ 9300K → 6500K → User →

ボタンを押すたびに、3つの設定値を切り替えます。

外部制御

外部制御の概要

本機は3種類の信号フォーマット入力･再生できます。

- **MAKE/TRIGGER端子**(RJ-45):以下の2種類の制御方式から選びます。
  - ① **MAKE(メイク接点)方式**
    ピンを短絡(GNDとショート)または、開放(端子オープン)することで機能を制御します。
  - ② **TRIGGER(トリガー)方式**
    ピンに瞬間的にパルス信号を入力することで機能を制御します。
  - ☞右記「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」
- **RS-485端子**(RJ-45):RS-485方式で本機を制御します。(☞23ページ「シリアル方式での外部制御」)
- **RS-232C端子**(D-sub 9ピン):RS-232C方式で本機を制御します。(☞23ページ「シリアル方式での外部制御」)

ご使用の外部制御端子と制御方式にあわせて、セットアップメニューの「Remote Setting」を下の表のように設定してください。(☞17ページ「Serial Type」、「Parallel Type」)

外部制御端子	外部制御方式		本機の設定	
			「Serial Type」	「Parallel Type」
MAKE/TRIGGER端子	パラレル方式	MAKE	—	Make
		TRIGGER	—	Trigger
RS-485端子	シリアル方式	RS-485	RS485注1	—
RS-232C端子		RS-232C	RS232C注1	—

注1 パソコンなどに接続したモニターは、接続した端子に合わせて設定します。2台め以降は「RS485」に設定します。

外部制御中、本機の操作には、次のような優先順位があります。

MAKE方式 ＞ TRIGGER方式 ＝ シリアル方式 ＝ 本機のボタンおよびメニュー

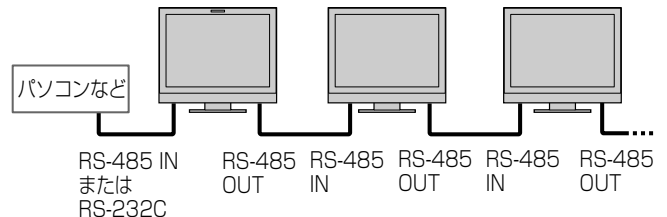
- 「Control Lock」(☞19ページ)が「Volume Lock」または「All Lock」のときも、外部制御できます。
- モニターがオフ(スタンバイ)のときは、外部制御できません。ただし、シリアル方式の一部の外部制御(通信開始／終了、モニターオン)は可能です。(☞24ページ)

<MAKE、TRIGGER方式>

パソコンまたはコントローラー注2で本機を制御します。

- 詳しくは次ページの「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」をご覧ください。

注2 別途制作の必要があります。

<シリアル方式>

- 詳しくは23ページをご覧ください。

MAKE/TRIGGER方式での外部制御

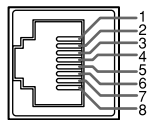
MAKE/TRIGGER端子のピン配列と、各ピンの名前は以下のとおりです。

1番ピンから5番ピンの機能は、セットアップメニューの「Remote Setting」で割り当てることができます。

(☞18ページ「Parallel Type」、「Pin1、Pin2、Pin3、Pin4、Pin5」)

- 6番ピンから8番ピンの機能は変更できません。

端子はメスです。

ピン番号	名前
1	Pin1
2	Pin2
3	Pin3
4	Pin4
5	Pin5
6	Tally注1
7	Enable注2
8	GND

注1 6番ピンはタリーランプの点灯/消灯を制御します。(7番ピンが無効のときも単独制御できます)

注2 7番ピンは外部制御の有効/無効を制御します。必ずMake方式で制御してください。

端子の機能を割り当てるには

メニューの操作方法は、12ページをご覧ください。

1. セットアップメニューを表示して、「Remote Setting」を選ぶ
2. 「Parallel Type」を「Set」に設定する
3. 割り当てたい端子(「Pin1」〜「Pin5」)を選び、機能を割り当てる
   割り当てられる機能については、23ページの一覧表をご覧ください。

外部制御の操作

1. セットアップメニューの「Remote Setting」で「Parallel Type」を「Make」または「Trigger」に設定する
2. 7番ピンを8番ピンに短絡して外部制御を有効にする
3. Make方式の場合 ：各機能のピンを8番ピンに短絡または開放して制御する
   Trigger方式の場合 ：各機能のピンを約1秒間8番ピンに短絡して開放する操作(パルス制御)で制御する

- Make方式での制御中に入力を切り換えるときは、現在有効になっているピンを無効にしてから、切り換えたい入力のピンを有効にしてください。
- Trigger方式では、複数のピンを一度に操作しても動作しません。必ず一つずつ順番に操作してください。

<MAKE／TRIGGER方式で制御可能な機能>

モニター表示	制御する機能	開放	短絡
ーーー	機能なし	—	—
Tally Color	タリーランプ色選択[注1]	緑	赤
Tally Type	タリーランプ点灯領域選択	全体	左右半分ずつ
Tally-L(R)	タリーランプの左半分を赤に点灯[注2]	オン	オフ
Tally-R(G)	タリーランプの右半分を緑に点灯[注2]	オン	オフ
SDI 1	入力を「SDI 1」に切換	無効	有効
SDI 2	入力を「SDI 2」に切換	無効	有効
HDMI	入力を「HDMI」に切換	無効	有効
Component/RGB	入力を「COMPO./RGB」に切換	無効	有効
Video	入力を「VIDEO」に切換	無効	有効
Area Marker	エリアマーカー表示	オフ	オン
Safety Marker	セーフティマーカー表示	オフ	オン
Center Marker	センターマーカー表示	オフ	オン
Frame	映像範囲表示	オフ	オン
Marker Select	「Marker」で設定した機能の選択[注3]	「R-」のない機能の設定	「R-」付きの機能の設定
Manual Aspect	アスペクト切換	4:3	16:9
1:1	1:1表示	オフ	オン
Status	ステータス表示[注4]	☞11ページ「ステータス表示について」	
Level Meter	オーディオレベルメーター表示	[注5]	
Time Code	タイムコード表示	オフ	オン
Source ID	☞19ページ「Information」の「Sourcet ID」	[注6]	
Color Off	カラーオフ	カラー	モノクロ
Screens Check	スクリーンチェック	[注7]	
I/P Mode	入力映像に応じてモードを切換	[注8]	
Muting	消音	オフ	オン
Dimmer	ボタンランプの明るさを切換	Normal	Dark

[注1] 「Tally Type」(「Set-Up Menu」→「Function Setting」→「Tally Setting」)が「Normal」のときに制御できます。
[注2] 「Tally Type」(「Set-Up Menu」→「Function Setting」→「Tally Setting」)が「Half」のときに制御できます。
[注3] 「R-」のない機能と「R-」付きの機能の設定のどちらを使うかを選択します。(☞15ページ「Marker」)
[注4] 現在選んでいる入力のINPUT SELECTボタンを押した場合と同じ情報が表示されます。(☞11ページ「ステータス表示について」)Make方式で制御しているときは、短絡した瞬間のみ表示されます。
[注5] Make方式では、表示(短絡)/非表示(開放)を切り換えます。「Level Meter Display」が「Off」のときは、短絡しても表示されません(「No Effect」と表示されます)。Trigger方式では、オーディオレベルメーターの音声チャンネルの表示順序を切り換えます。
[注6] Make方式では、「Source ID」の設定値(「On」または「Auto」は短絡)と「Off」(開放)を切り換えます。Trigger方式ではメニューの設定と同じように切り換わります。(☞19ページ「Information」の「Source ID」)
[注7] Make方式では、通常の映像(開放)とB信号成分のみの映像(短絡)が切り換わります。Trigger方式では、SCREENS CHECKボタンを押したときと同じように切り換わります(☞10ページ⑫)。
[注8] Trigger方式で制御してください。「Normal」→「Cinema」→「Field」の順番でモードが切り換わります。(Make方式では、制御できません)

- 2つのピンに、同じ機能を割り当てることはできません。
- Trigger方式の場合、約1秒間短絡して開放する操作により、設定が交互に切り換わります。

シリアル方式での外部制御

RS-485端子またはRS-232C端子を使って、本機をパソコンなどから制御します。
※ 制御仕様の詳細は、サービス窓口にお問い合わせください。

<通信仕様>

使用する端子	ケーブル	端子の仕様	通信仕様
RS-485端子	ストレートLANケーブル	☞下表	ボーレート:4800 bps データ長:8ビット パリティ:なし ストップビット:1ビット フロー制御:なし 通信コード:ASCIIコード
RS-232C端子	D-sub9ピン型コネクターのストレートケーブル (モニター側:オス、パソコン側:メス)		

<RS-485端子の仕様>

端子はメスです。

ピン番号	IN端子信号	OUT端子信号
1	TXD+	TXD+
2	TXD−	TXD−
3	RXD+	RXD+
4	NC	NC
5	NC	NC
6	RXD−	RXD−
7	NC	NC
8	GND	GND

<RS-232C端子の仕様>

端子はメスです。

ピン番号	信号
1	NC
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	RTS
8	CTS
9	NC

- ７番品と８番ピンは接続されています。

外部制御（つづき）

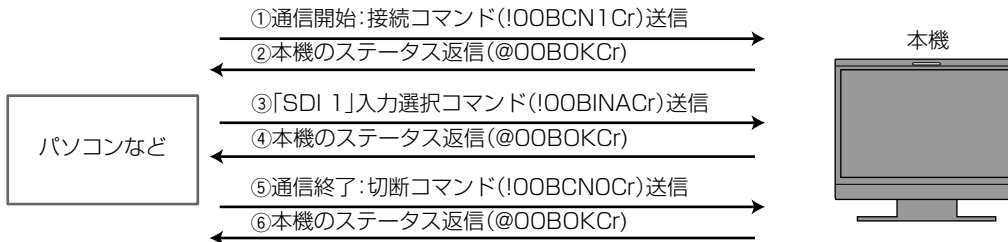
＜コマンド概要＞
すべてのコマンドは、以下のフォーマットで形成されています。

ヘッダー	本機のID	コマンド内容	データ内容	Cr(0Dh)

ヘッダーについて

「!」　：パソコンから本機への制御。詳しくは、＜基本コマンド一覧＞(☞下表)をご覧ください。
「?」　：パソコンから本機への問い合わせ
「@」：本機からパソコンへの返信

通信開始時には接続コマンド、通信終了時には切断コマンドが必要です。

通信例

＜基本コマンド一覧＞

No.	コマンド	機能	データ内容
1	! ＊ ＊[注1] B C N 1 Cr	通信開始(接続)	なし
2	! ＊ ＊[注1] B C N 0 Cr	通信終了(切断)	なし
3	! ＊ ＊[注1] B I D S E T x x[注2] Cr	個別制御IDの割付	01～99
4	! ＊ ＊[注1] B I D R E T Cr	個別制御IDの初期化	なし
5	! ＊ ＊[注1] B I D D S P x x[注2] Cr	IDの表示/非表示	00：非表示、01：表示
6	! ＊ ＊[注1] B M E N U Cr	メインメニューの表示/メニュー操作の終了	なし
7	! ＊ ＊[注1] B U P Cr	項目選択(△)	なし
8	! ＊ ＊[注1] B D O W N Cr	項目選択(▽)	なし
9	! ＊ ＊[注1] B A D J R Cr	設定・調整(▷)	なし
10	! ＊ ＊[注1] B A D J L Cr	設定・調整(◁)	なし
11	! ＊ ＊[注1] B S E T U P Cr	セットアップメニューの表示	なし
12	! ＊ ＊[注1] B P W 1 Cr	モニターをオン	なし
13	! ＊ ＊[注1] B P W 0 Cr	モニターをオフ(スタンバイ)	なし
14	! ＊ ＊[注1] B I N A Cr	「SDI IN1」入力選択	なし
15	! ＊ ＊[注1] B I N B Cr	「SDI IN2」入力選択	なし
16	! ＊ ＊[注1] B I N C Cr	「HDMI」入力選択	なし
17	! ＊ ＊[注1] B I N D Cr	「COMPO./RGB」入力選択	なし
18	! ＊ ＊[注1] B I N E Cr	「VIDEO」入力選択	なし
19	! ＊ ＊[注1] B D I S P Cr	ステータス表示[注3]	なし
20	! ＊ ＊[注1] B A M U T E x x[注2] Cr	消音	00：オフ、01：オン
21	! ＊ ＊[注1] B A S P x x[注2] Cr	アスペクト切換	00：4:3、01：16:9
22	! ＊ ＊[注1] B V P L S Cr	音量調整(プラス方向)	なし
23	! ＊ ＊[注1] B V M N S Cr	音量調整(マイナス方向)	なし
24	! ＊ ＊[注1] B V O L x x[注2] Cr	音量調整(ダイレクト)	00～30

● 「Cr」は0Dhです。
● 通信開始(接続)コマンド(No.1)、通信終了(切断)コマンド(No.2)、モニターをオンにするコマンド(No.13)は、モニターがオフ(スタンバイ)のときも通信できます。

注1　「＊＊」には、本機のIDを入力します。本機のIDの初期設定は「00」です。モニターを複数台接続している場合、「00」は一括制御コマンドになります。
注2　「xx」にはデータ内容を入力します。
注3　現在点灯しているINPUT SELECTボタンを押した場合と同じ情報を表示します。(☞11ページ「ステータス表示について」)

困ったときは

修理をご依頼の前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

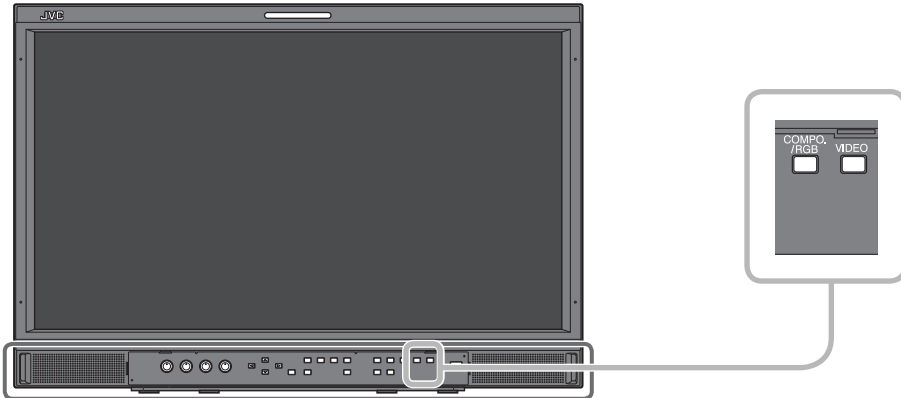
こんなときは	こうしてください	ページ
電源が入らない	● ⏻ / I ボタンをオンにしてください。 ● 電源プラグを確実に差し込んでください。 ● 背面の電源スイッチをオンにしてください。	10 9 8
映像が映らない	● INPUT SELECTボタンで正しい入力を選んでください。 ● 信号ケーブルを確実に接続してください。 ● 接続機器の電源を入れ、正しく設定してください。 ● 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。	10 8 — 29、30
音が出ない	● 音量を調節してください。 ● 消音を解除してください。 ● 信号ケーブルを確実に接続してください。 ● 接続機器の電源を入れ、正しく設定してください。	10 10 8 —
「Out of Range」と表示される	● 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。	11、29、30
「No Sync」と表示される	● INPUT SELECTボタンで正しい入力を選んでください。 ● 信号ケーブルを確実に接続してください。 ● 接続機器の電源を入れ、映像信号を出力してください。または、接続機器の映像出力環境(ビデオデッキの映像出力設定やパソコンのグラフィックボードなど)を確認してください。	10 8 —
色がおかしい/色がつかない	● 各映像調節ノブまたはセットアップメニューの「Picture Sub Adjust」の各項目を調節してください。または設定を初期化してください。 ● COLOR OFFボタン、SCREENS CHECKボタンの設定を確認してください。 ● 「Signal Setting」で「Color System」を正しく設定してください。 ● 「Set-Up Menu」の「White Balance Setting」の各項目を調節してください。もしくは設定を初期化してください。	10、18 10 15 18
映像がぼやける	● 映像調節ノブでCONTRASTやBRIGHTを調節してください。 または、セットアップメニューの「Picture Sub Adjust」の項目で「Contrast」や「Bright」を調節してください。	10、18
映像の位置がずれている、 映像のサイズが合っていない 信号によっては、映像を画面いっぱいに広げることができない場合があります。この場合は確実な対応のしかたがありません。あらかじめご了承ください。	● 1:1ボタンの設定を確認してください。 ● メインメニューの「Manual Aspect」「SD4:3 Size」の設定を確認してください。 ● 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。 ● 「Size/Position Adjust」で映像のサイズ(H Size、V Size)・位置(H Position、V Position)を調節してください。	10 14 29、30 14
本機で操作できない	● セットアップメニューの「Control Lock」を「Off」に設定してください。 ● MAKE方式で外部制御している機能は、本機からは操作出来ません。外部制御を無効にしてください。	19 18、22

こんなときは故障ではありません

- 静止画を長時間表示していると、映像を切り換えても前の映像がぼんやりと映っていること(残像)がありますが、しばらくすると消えます。また、表示する時間によっては、残像が長期にわたる場合があります。これは、LCD(液晶ディスプレイ)の特性で、故障ではありません。
- 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(黒点)がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。
- 下記のような場合でも、画面や音声に異常がなければ故障ではありません。
  - ディスプレイパネルに手を触れると弱い静電気を感じる。
  - 本機の天面や背面の一部が熱くなっている。
  - 本機から「ミシッ」という音がする。
  - 本機の内部から動作音が聞こえる。

困ったときは（つづき）

自己診断表示について

本機には自己診断機能がついています。本機に異常が起きたときに、INPUT SELECTランプで本機の状態をお知らせし、より迅速にサービス対応させていただくための機能です。
INPUT SELECTランプが点滅したら、次の手順でお買い上げ販売店にご相談ください。

イラストはDT-E21L4です

画面が消え、正面のINPUT SELECTランプ(COMPO./RGB、VIDEO)が点滅したら...

1. どのランプが点滅しているかを確認する

2. ⏻/I ボタンを押してモニターをオフ(スタンバイ)にする

3. 背面の電源スイッチをオフにする

4. 電源コードを抜く

5. お買い上げ販売店に点滅しているランプを知らせる

- 電源を切った後、すぐに電源を入れると、INPUT SELECTボタンが点滅し、映像が映らないことがあります(瞬間的な停電も含みます)。
  このような場合は、一度電源を切り、10秒以上待ってから再び電源を入れてください。
  INPUT SELECTランプが点滅しなければ、そのままご使用ください。
- セットアップメニューの「Remote Active On Standby」が「Off」のときにモニターをオフ(スタンバイ)にすると自己診断機能は働きません。

仕様

一般

型名	DT-E21L4	DT-E17L4G
種類	液晶マルチフォーマットモニター	
画面サイズ	21V型ワイド	17V型ワイド
アスペクト比	16:9	
水平/垂直周波数(パソコン信号)	水平: 31.467 kHz〜75.000 kHz 垂直: 49.990 Hz〜75.062 Hz ＊この周波数の範囲内でも信号によっては映らない場合があり、「Out of range」と表示されます。	
対応映像信号フォーマット	☞29ページ「対応信号フォーマット」	
適用規格	HD SDI: BTA S-004C、SMPTE292M SD SDI: ITU-R BT.656: 525/625 SMPTE259M: 525 EMBEDDED AUDIO: SMPTE299M、SMPTE272M	
音声出力	内部スピーカー:1.0 W + 1.0 W	
動作使用条件	温度 5℃〜35℃　湿度 20%〜80%(非結露) (動作使用条件は設置環境により多少異なります。)	
使用電源	AC 100V、50 Hz/60 Hz共用　または　DC 12V 〜 17V	
定格電流	0.6 A(AC 100Vのとき) 3.5 A(DC 12V 〜 17Vのとき)	0.6 A(AC 100Vのとき) 3.0 A(DC 12V 〜 17Vのとき)
外形寸法(突起部除く)	横幅: 51.5 cm　51.5 cm 高さ: 35.21 cm　34.7 cm 奥行: 18.1 cm　9.98 cm (スタンドを含む)　(本体のみ)	横幅: 43.0 cm　43.0 cm 高さ: 31.41 cm　30.9 cm 奥行: 18.1 cm　10.2 cm (スタンドを含む)　(本体のみ)
質量	7.7 kg(スタンドを含む) 6.2 kg(本体のみ)	7.1 kg(スタンドを含む) 5.6 kg(本体のみ)
付属品	電源コード(3極)×1、電源コード(アース線付き2極)×1、電源コードホルダー×1、 ネジ(電源コードホルダー用)×2	

液晶パネル

種類	21型ワイド、アクティブマトリックス TFT	17型ワイド、アクティブマトリックス TFT
有効画面寸法	横幅: 47.7 cm 高さ: 26.8 cm 対角: 54.7 cm	横幅: 38.2 cm 高さ: 21.5 cm 対角: 43.8 cm
表示画素数(解像度)	1980×1080ピクセル	
表示色数	約1670万色	
視野角(標準値)	左右:170°　上下:160°	左右:160°　上:60°　下:80°
輝度(標準値)	250 cd/m^2	300 cd/m^2
コントラスト比(標準値)	1000:1	600:1

入出力端子

映像	VIDEO	コンポジット信号入出力: 1系統、BNCコネクター×2、1 V(p-p)、75 Ω ※INとOUTはブリッジ接続(自動終端)
	HDMI	HDMI信号入力(HDCP対応): HDMIコネクター×1
	COMPO./RGB (R, G, B, HS, VS or Y, Pb/B-Y, Pr/R-Y)	アナログコンポーネント信号/アナログRGB信号入力: 1系統、ミニ D-SUB 15pin コネクター×1 Y: 1 V(p-p)、75 Ω(同期信号含む) G、B/PB/B-Y、R/PR/R-Y: 0.7 V(p-p)、75 Ω HS、VS: 0.3V (p-p) to 5V (p-p) ※HS、VSはLow/High終端マニュアル切り換え
	E. AUDIO HD/SD SDI (IN 1) E. AUDIO HD/SD SDI (IN 2)	デジタル信号入力(EMBEDDED AUDIO信号対応): 自動検知、2系統、BNCコネクター×2
	E. AUDIO HD/SD SDI (SWITCHED OUT)	デジタル信号出力(EMBEDDED AUDIO信号対応): 1系統スイッチドアウト、BNCコネクター×1
音声	AUDIO (IN)	アナログ音声信号入力: 2系統、RCAコネクター×2、ステレオミニジャック×1、 500 mV(rms)、ハイインピーダンス
	AUDIO (MONITOR OUT)	アナログ音声信号出力: 1系統、RCAコネクター×2、500 mV(rms)
外部制御	REMOTE (MAKE/TRIGGER)	☞22ページ「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」
	REMOTE (RS-485) REMOTE (RS-232C)	☞23ページ「シリアル方式での外部制御」

対応信号フォーマット

本機は以下の信号フォーマット入力･再生できます。

ビデオ信号

No.	名称	ステータス表示の信号フォーマット (☞11ページ)[注5]	入力端子				
			VIDEO	analog COMPO.	analog RGB	E.AUDIO[注1] HD/SD SDI	HDMI
1	NTSC	NTSC	○	—	—	—	—
2	NTSC 4.43	N 4.43	○	—	—	—	—
3	PAL-M	PAL-M	○	—	—	—	—
4	PAL60	PAL60	○	—	—	—	—
5	PAL	PAL	○	—	—	—	—
6	PAL-N	PAL-N	○	—	—	—	—
7	SECAM	SECAM	○	—	—	—	—
8	B/W50	B/W50	○	—	—	—	—
9	B/W60	B/W60	○	—	—	—	—
10	480/60i	480/60i	—	○	—	—	○
11	480/59.94i	480/59.94p	—	○	—	○	○
12	576/50i	576/50i	—	○	—	○	○
13	480/60p	480/60p	—	○	—	—	○
14	480/59.94p	480/60p	—	○	—	—	○
15	576/50p	576/50p	—	○	—	—	○
16	640*480/60p	640*480/60p	—	—	○	—	○
17	640*480/59.94p	640*480/60p	—	—	○	—	○
18	720/60p	720/60p	—	○	—	○	○
19	720/59.94p	720/59.94p	—	○	—	○	○
20	720/50p	720/50p	—	○	—	○	○
21	720/30p	720/30p	—	—	—	○	—
22	720/29.97p	720/29.97p	—	—	—	○	—
23	720/25p	720/25p	—	—	—	○	—
24	720/24p	720/24p	—	—	—	○	—
25	720/23.98p	720/23.98p	—	—	—	○	—
26	1080/60i	1080/60i	—	○	—	○	○
27	1080/59.94i	1080/59.94i	—	○	—	○	○
28	1035/60i	1035/60i	—	—	—	○	○
29	1035/59.94i	1035/59.94i	—	—	—	○	○
30	1080/50i	1080/50i	—	○	—	○	○
31	1080/60p	1080/60p	—	○	○	—	○
32	1080/59.94p	1080/60p	—	○	○	—	○
33	1080/50p	1080/50p	—	○	○	—	○
34	1080/30p	1080/30p	—	—	—	○	○
35	1080/29.97p	1080/29.97p	—	—	—	○	○
36	1080/25p	1080/25p	—	—	—	○	○
37	1080/24p	1080/24p	—	—	—	○	○
38	1080/23.98p	1080/23.98p	—	—	—	○	○
39	1080/30PsF	1080/30psf	—	—	—	○[注2]	—
40	1080/29.97PsF	1080/29.97psf	—	—	—	○[注3]	—
41	1080/25PsF	1080/25psf	—	—	—	○[注4]	—
42	1080/24PsF	1080/24psf	—	—	—	○	—
43	1080/23.98PsF	1080/23.98psf	—	—	—	○	—

○: 入力可
—: 入力不可
[注1] EMBEDDED AUDIO信号対応。
[注2] 1080/60iとみなされ、「1080/60i」とステータスが表示されます。
[注3] 1080/59.94iとみなされ、「1080/59.94i」とステータスが表示されます。
[注4] 1080/50iとみなされ、「1080/50i」とステータスが表示されます。
[注5] E.AUDIO HD/SD SDI入力以外の信号フォーマットのステータス表示で、**/59.94、**/29.97、**/23.98はそれぞれ、**/60、**/30、**/24と表示されます。

- HDMI、HDMIロゴおよび、High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licencing,LLCの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- HDCPはHigh-bandwidth Digital Content Protectionの略称で、Digital Content Protection,LLCが認可する信頼性の高い著作権保護技術です。

仕様（つづき）

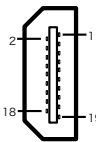
パソコン信号(プリセット)
COMPO./RGB端子のアナログRGB入力およびHDMI端子のDVI信号入力:

No.	名称	解像度		周波数		走査方式
		水平	垂直	水平(kHz)	垂直(Hz)	
1	VGA60	640	480	31.5	59.9	ノンインターレース
2	WVGA60	852	480	31.5	59.9	ノンインターレース
3	SVGA60	800	600	37.9	60.3	ノンインターレース
4	XGA60	1024	768	48.4	60.0	ノンインターレース
5	WXGA(1280)	1280	768	47.8	60.0	ノンインターレース
6	WXGA+60	1440	900	55.9	60.0	ノンインターレース
7	SXGA60	1280	1024	64.0	60.0	ノンインターレース
8	UXGA60[注1]	1600	1200	75.0	60.0	ノンインターレース
9	WUXGA60[注1]	1920	1200	74.0	60.0	ノンインターレース
10	1080/60p	1920	1080	67.5	60.0	ノンインターレース
11	1080/50p	1920	1080	56.3	50.0	ノンインターレース
12	US TEXT[注2,注5]	720	400	31.5	70.1	ノンインターレース
13	WXGA(1360)	1360	768	47.7	60.0	ノンインターレース
14	SXGA+/60A[注3]	1400	1050	64.0	60.0	ノンインターレース
15	SXGA+/60B[注4]	1400	1050	65.2	60.0	ノンインターレース
16	MAC13[注5]	640	480	35.0	66.7	ノンインターレース
17	MAC16[注5]	832	624	49.7	74.5	ノンインターレース
18	MAC19[注5]	1024	768	60.2	74.9	ノンインターレース
19	MAC21[注5]	1152	870	68.7	75.1	ノンインターレース

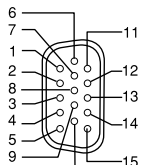
注1 No.8、9の信号は、解像度が本機のパネルの解像度より高いため、細かい線が見えにくくなります。
注2 VGA400/70とみなされ、VGA400/70とステータスが表示されます。
注3 SXGA+60とみなされ、SXGA+60とステータスが表示されます。
注4 SXGA+60*とみなされ、SXGA+60*とステータスが表示されます。
注5 アナログＲＧＢ入力のみ対応します。

- 入力可能な周波数範囲内であっても、プリセットされていない信号は正常に映らないことがあります。
- プリセットされている信号を入力したときは、ステータス表示で信号フォーマットが表示されます。プリセットされていない信号を入力したときは、「Out Of Range」と表示されます。

HDMI端子の仕様

映像機器のHDMI出力端子と接続します。

ピン番号	入力信号
1	TMDS データ2+
2	TMDS データ2シールド
3	TMDS データ2-
4	TMDS データ1+
5	TMDS データ1シールド
6	TMDS データ1-
7	TMDS データ0+
8	TMDS データ0シールド
9	TMDS データ0-
10	TMDS クロック+
11	TMDS クロックシールド
12	TMDS クロック-
13	CEC
14	予備(非結線)
15	SCL
16	SDA
17	DDC/CECグランド
18	+5V電源
19	ホットプラグ検出

mini D-SUB15ピン端子の仕様

映像機器のmini D-SUB15ピン出力端子と接続します。

ピン番号	入力信号
1	Red video signal
2	Green video signal or Sync on Green signal
3	Blue video signal
4	Not connected
5	Ground
6	Red video signal return
7	Green video signal return
8	Blue video signal return
9	Not connected
10	Ground
11	Not connected
12	I2C data
13	Horizontal or Composite synchronization signal
14	Vertical synchronization signal
15	I2C clock

輸送上のお願い

本機は精密機器のため、輸送時には専用の包装材が必要になります。当社以外の包装材は使用しないでください。

- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国ではカラー方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  This monitor set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 画面サイズのV型(21V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。
- 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成をしていますので、実物とは多少異なる場合があります。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機は「高調波電流規格　JIS C 61000-3-2適合品」です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日･販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から１年間です。

修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に、「困ったときは」(☞25ページ)に従って確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または別紙の「業務機器相談窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのご相談窓口案内にご連絡ください。

■ 保証期間中は
修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡していただきたい内容

品　名	表紙参照
型　名	表紙参照
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせて
お　名　前	
電話番号	(　　)　　－
訪問後希望日	

■ 修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店　　(　　)　　－

愛情点検

●長年ご使用のモニター・ディスプレイ・テレビの点検をぜひ！
熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。

ご使用を中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談ください。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「業務機器相談窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

全般的なご相談

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120－2727－87
携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は
電話　(045) 450－8950
FAX　(045) 450－2308
〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ　http://www3.jvckenwood.com/

株式会社 JVCケンウッド
〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

0212TMH-MW-MT